

音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフコース 2年次 受講科目一覧

企画制作専攻

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間 4 5 分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
実習	分野別実習Ⅱ（前期）	34	2	1
実習	分野別実習Ⅱ（後期）	34	2	1
講義	一般教養Ⅱ	68	2	4
講義	音楽史Ⅱ	68	2	4
講義	舞台知識Ⅱ	68	2	4
講義	P C 知識Ⅱ	68	2	4
講義	コンサートスタッフ知識Ⅱ	68	2	4
実習	プロダクトデベロップメントⅡ	68	2	2
実習	デザインⅡ	68	2	2
演習	スタッフワーク基礎Ⅱ	68	2	4
演習	スタッフワーク応用Ⅱ	68	2	4
演習	企画制作基礎Ⅱ	68	2	4
演習	企画制作応用Ⅱ	68	2	4
講義	業界知識Ⅱ	72	2	4
合計		888	26	46

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	一般教養Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	必修		
	学則別表上表記	一般教養Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA音響/サウンドデザイナー/照明/ステージ総合/音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☐	非該当 ☒
担当講師 実務経歴							
授業概要							
①学生と社会人の違いを知り、社会人として必要なビジネスの基礎を中心にコミュニケーション力、ビジネスマナー、日本のしきたりを学ぶ。 ②具体的にはビジネスマナーの基本である第一印象、あいさつ、みだしなみ、態度、ことばづかい、話し方・聞き方、ビジネス文書、来客対応、仕事の進め方、食事のマナー、日本のしきたりまで学習する。 ③就職活動に必要な、自己PR作成や立ち居振舞いを実践し面接試験をクリアできる基本を学ぶ。							
到達目標							
・就職後に役立つビジネスマナーや社会人として求められる能力を習得することにより、社会人になるにあたっての意識の向上と基本的な心構えをもつことができ、組織にとって必要な人材になることができるようになる。 ・対人関係においてコミュニケーションを向上し、円滑な人間関係を築くための基礎を身につけることができる。 ・ビジネスマナーと接遇の基本の考え方を理解し、体得することによって実務能力を実践的に使えるようになる。就職活動方法及び面接・筆記試験対策を実践形式で行い、就職内定を最終目標とする。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	自己紹介：対策と解説
【前期】 4～7回目	マナー基本編の復習と応用編(ステップupマナー)
【前期】 8～10回目	マナーの実技編とアドバイス
【前期】 11～13回目	コミュニケーションの復習(話し方・聞き方・表情・態度)・実技編
【前期】 14～17回目	前期試験：マナー・コミュニケーションのレポート提出と実技の実施
【後期】 18～20回目	就活の為のマナー編(面接時における対応・入室・座・退室)
【後期】 21～24回目	質問に対する返答への対策
【後期】 25～27回目	社会人としての仕事への取り組み方
【後期】 28～30回目	仕事をして行く中で マナー・ルールが相手の立場を考え仕事を円滑に運んだり、トラブルを未然に防いだりする事の必要性
【後期】 31～34回目	後期試験：自己アピール(プレゼン)と好感の持てる社会人とは レポート提出
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	会社のしくみを学び、仕事の基本を知ることはいくらから社会に出るみなさんにとって大きな自信につながります。「企業は人なり」と言われるように社員のちょっとした言葉や行動が会社の印象に関わるからこそビジネスマナーが大切です。あらゆるビジネスシーンで求められる接遇力をしっかり習得します。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	音楽・芸能業界史		授業形態 / 必選	講義	必修		
	学則別表上表記	音楽史Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	米国広報プログラムによりニューヨークにおいて'92年プロデュース研修。東京や福岡でコンサート、演劇やファッションショーなどの企画、制作やプロデュースを数多く手掛ける。大手プロダクションにおいて福岡のダンスヴォーカルユニット、モデルや俳優の育成からマネージメントまで幅広く活動中。 上記の経験を活かし企画制作における実践指導を行う。						
授業概要							
①プロダクションにおけるエンタテインメントの流れを学習する。 ②歌謡曲の流行とアイドル業界の流れを学習する。							
・エンタテインメント業界・コンテンツ業界の理解。 ・音楽・放送・映画業界の理解。 ・その他、ゲームやアニメ業界の理解。 ・コンテンツ業界の中において、音楽芸能業界の歴史を知る事で、将来的な流行り廃りを養える目を身につける。 ・音楽・エンタテインメントの世界において過去に起こったブームや流行を知り、分析し、これからのトレンドを予測する。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	大手プロダクションの成り立ちと歴史。
【前期】 4～7回目	新興プロダクションの成り立ち。
【前期】 8～10回目	プロダクションの役割。
【前期】 11～13回目	プロダクションと音楽・TV・映画の関係。
【前期】 14～17回目	プロダクションと所属芸能人との関係。
【後期】 18～20回目	外国と日本のプロダクションとの比較。
【後期】 21～24回目	映画における音楽・芸能との関係。
【後期】 25～27回目	映画業界の役割。
【後期】 28～30回目	映画業界からTVへの軌跡。
【後期】 31～34回目	ネット配信への転換。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	コンテンツ業界の内容や歴史・流行を知る事で、エンタテインメント業界での様々な人たちとの交流がより楽しく、より深くなることでしょう。
備考	適宜プリントおよびPDFを配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	舞台知識Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	必修	
	学則別表上表記	舞台知識Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	自らのバンド経験を生かし、福岡を中心に楽器スタッフやイベントスタッフとして活躍。NUMBER SHOT・中洲ジャズ・Sunset Liveなどにもスタッフとして参加。 上記の経験を活かし舞台知識についての講義を行う。					
授業概要						
①芸能の発生から芝居小屋の広がり、近代の公会堂、劇場、ホールへと歴史的に変化していった、日本の劇場、ホールについての学習する。 ②併せてステージ上で使う備品・楽器などについても見識を深める。						
到達目標						
・卒業後、劇場等演出空間での創造性溢れる自由な表現活動に携わるスタッフに求められるのは、高度な創造と制作である。 さらには円滑でより安全な公演実施には、音響/照明などの分野を超えた共通認識が必要とされ、公演に携わる者のコミュニケーションのために、必要不可欠な知識を習得が求められる。 制作スタッフは専門教科内で身につける知識とは別に、劇場が歴史的に、また洋の東西を超えて文化創成/文化発信/文化体感の空間であることを認識することで、単なる技術者にとどまることなく、文化の一翼を担うインテリジェンスを身につけた存在になることを到達目標とする。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	劇場・ホールの役割とその機能や構成、演目の種類等について見識を深める。
【前期】 4～7回目	舞台用語・業界用語や舞台機能の仕組み、尺貫法など
【前期】 8～10回目	ステージ上で使われる楽器等の知識、ステージプロット上で使用する記号・略号について
【前期】 11～13回目	LIVE WEEKに向けての資料作りの見やすさ、正確さについて
【前期】 14～17回目	■前期試験：実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	劇場・ホールにおける安全衛生管理について。それぞれの職務と責任について。
【後期】 21～24回目	安全衛生管理の実務やその取り組みについて。
【後期】 25～27回目	音響・照明・楽器等、それぞれのセクションとの円滑なコミュニケーションについて。
【後期】 28～30回目	FINALWEEKに向けての各セクションとの打合せの重要性や下準備について。2年間の総仕上げ
【後期】 31～34回目	■後期試験：実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。合わせて2年間の理解度も問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	卒業後の進路であるイベント制作会社、プロダクション等の現場に臨むに当たり、これからエンターテインメント就労する中では、習得する機会のない基礎的な舞台全般知識の習得を目指します。
備考	必要に応じて講師作成のテキスト配布やデータの共有を行います。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PC知識Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	必須		
	学則別表上表記	PC知識Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68)単位時間	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ/音楽スタッフ総合						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	CM制作会社でビジュアル制作に携わった後、個人ブランドのビジュアルデザインを担当。広告・フライヤー・ビジュアル制作などを中心に活動している。 デザイン制作だけでなく、コンセプト設計やビジュアルディレクションなど、企画から表現までを意識した制作を行う。						
授業概要							
この講義では、音楽業界(企画制作・マネージャー)に特化したMicrosoft Office(Word/Excel/PowerPoint)やAdobe(Photoshop/Illustrator)ソフトウェアの概要と応用的な使いかたを学ぶ。							
到達目標							
・Word(文書作成)、Excel(表計算)、PowerPoint(プレゼンテーション)Photoshop(画像加工・合成)・Illustrator(ロゴ・デザイン作成)といったそれぞれの特性を理解し、与えられた課題を作成できることを目標とする。 ・就職後、ビジネス文書はこれらのソフトウェアのいずれかで作成されていることがほとんどである。 したがって、この講義をマスターすることは組織から必要とされる人材の基本的な職務遂行能力の獲得に直結している。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	SNS分析。PC全般の活用の仕方及び1年生で学んだことの再確認。
【前期】 4～7回目	Photoshopにて人物のレタッチ方法や手法の習得。
【前期】 8～10回目	Illustratorにてデザイン方法や手法の習得。
【前期】 11～13回目	様々なソフトウェアを使用してキャッチコピーやロゴ制作で使える手法の習得。
【前期】 14～17回目	■ 前期試験:SNSについての筆記試験を実施。必要な知識が身についているか、理解できているかなどを出題。
【後期】 18～20回目	パワーポイントを使ってイベントの情報共有してみよう。
【後期】 21～24回目	IllustratoやPhotoshopを使ってTシャツをデザイン。
【後期】 25～27回目	IllustratoやPhotoshopを使って雑誌を作成。
【後期】 28～30回目	今まで使ってきたソフトウェアを活用し提案書を作成。 Microsoft Office(Word/Excel/PowerPoint)やAdobe(Photoshop/Illustrator)を適切な用途で使う。
【後期】 31～34回目	■ 後期試験:2年間で学んだことのまとめ筆記試験。総合的な理解度を評価。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	まずはデザインすることの楽しさを学んで、慣れていきましょう！頭の中で作りたいものを実際に作れる楽しさ、難しさなどなどたくさん学び他の授業の制作にも役立てて欲しいです。基礎の後は自分の個性をしっかりとだしてたくさん制作しましょう！
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	イベント制作知識Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択		
	学則別表上表記	コンサートスタッフ知識Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	米国広報プログラムによりニューヨークにおいて'92年プロデュース研修。東京や福岡でコンサート、演劇やファッションショーなどの企画、制作やプロデュースを数多く手掛ける。大手プロダクションにおいて福岡のダンスヴォーカルユニット、モデルや俳優の育成からマネージメントまで幅広く活動中。 上記の経験を活かしイベント制作全般における講義を行う。						
授業概要							
①20代を中心とした世代の関心事(食文化、ファッション、恋愛など)に新風を起こすほどの魅力あるイベントを企画。 ②基礎として、日本の文化、歴史、観光、人文を世界に発信することを目標に、若者世代の音楽を軸に、日本のお家芸であるサブカルチャーを世界の共通言語と位置づけ、言葉を越えたイベントを制作～実施を企業、自治体への提案書を作成。							
到達目標							
・1年次の経験をもとに、新企画を起こすなかで、より高度で新たな視点で情報を探索し、さらに内容を深める工程で、必要な知識を習得。 ・身につけた発想力と経験を生かした視点による、企画を周囲の制作陣と共有し、発信する力を身につけることが到達目標。 ・ネットによる最新情報収集と共に、過去の文献をひもとき、経験者、有識者の文献を読み解き、専門知識を身につける。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	企画書、稟議書、プレゼンテーション概要学習。
【前期】 4～7回目	個々でプランの方向性を模索し、確立させる。
【前期】 8～10回目	実践を想定した企画書を作成。
【前期】 11～13回目	作成した企画書を修正し、企画書や稟議書を確定させていく。
【前期】 14～17回目	■前期試験:筆記試験及び実技試験の実施。
【後期】 18～20回目	効果的な宣伝方法について。
【後期】 21～24回目	アーティスト、関係各所との交渉について。
【後期】 25～27回目	イベントにおける予算の考え方について。
【後期】 28～30回目	実践を想定した予算計画書の作成・修正。
【後期】 31～34回目	■後期試験:プレゼンテーションによる実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	知識、情報を自らの方法と手段で会得し、クラス全員参加による相互の意見交換と収集した情報から他者と自らの発想を融合し、より高度な創造力を身につける。
備考	講師作成のプリント資料を授業毎に配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	プロダクトデベロップメントⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	プロダクトデベロップメントⅡ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	デザイナー歴7年以上。アーティストのジャケット写真・イベントフライヤーデザインを中心に、日本国内外で1,500点以上を制作。撮影・ビジュアルディレクションも行い、企画から制作まで一貫してブランド構築を手がける。自身のアパレルブランド運営や企業案件など、多岐にわたるジャンルのデザイン制作に携わっている。					
授業概要						
1年次に経験したイベント主催・フェス実習・プロダクト制作の基礎を土台とし、より実践的かつ現場基準での制作力を高める。企画力・デザイン力だけでなくその次までのトータルプロデュース力を養う。実際の案件やイベントを想定し、ブランディング・ターゲット設定・コンセプト設計からビジュアル制作、プレゼンテーションまでを一貫して行い、制作側としての視点だけでなく、主催者・出演者・観客それぞれの立場を理解しながら、より実践的なプロダクト開発を行う。						
到達目標						
①基礎制作から一歩進んだ応用デザイン・企画力を身につける。 ②ブランドコンセプトを自ら構築し統一感のある制作ができる。 ③実際の現場を想定したクオリティ・スピード感で制作できる。 ④ターゲットや目的を明確にしたプロダクト提案ができる。 ⑤チーム制作において主体的に動き、周囲と連携しながら形にできる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	応用基礎・ブランド再構築。一年時の復習・基礎内容確認。
【前期】 4～7回目	プロダクト制作(納期を決めスピード感に慣れる・フライヤーやグッズ制作など)
【前期】 8～10回目	チーム制作・チームを組み1から企画やデザインを作成。
【前期】 11～13回目	チーム制作の発表・意見交換をしつつ完成形を作り上げる
【前期】 14～17回目	■ 前期試験: デザインの課題を出すのでテスト時間内で完成させ、提出まで。
【後期】 18～20回目	①フェス企画を仮定し制作。キャスティングからフライヤー制作・グッズデザイン制作
【後期】 21～24回目	②フェス企画を仮定し制作。キャスティングからフライヤー制作・グッズデザイン制作
【後期】 25～27回目	①振り返り/まとめ 年間の思い出デザイン制作。
【後期】 28～30回目	①振り返り/まとめ 年間の思い出デザイン制作。
【後期】 31～34回目	総締め括り ■ 後期試験: デザインの課題を出すのでテスト時間内で完成させ、提出まで。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一年次にしっかりできていた新二年生！今年もしっかり楽しくデザインを作りつつ、どう魅せるか、どう売るかなどプロデュース力やセンスを磨いていきましょう。自身がやりたいことを積極的に作り上げてください。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	広告デザインⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択
	学則別表上表記	デザインⅡ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	イラストレーター。建設会社や介護施設サイトにイラスト起用。 大手宿泊施設の冊子挿絵や温泉施設のポスター、様々なパンフレットデザインまで幅広く活動。				
授業概要					
Adobe Illustrator、Photoshopの基本操作や応用方法を身につけ、DTPについて実習を行う。 Adobe Premiere Pro・After Effectsを使用し、学内イベントのLIVE映像の編集技術を身につける。					
到達目標					
・DTPに必要なPC技術を学ぶ。 ・フライヤーやグッズなど入稿作業を身に付ける。 ・色やフォントの効果を理解し、目的に沿ったデザイン表現が出来る。 ・作りたいものをそのまま形にすることが出来る。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	「名刺デザイン」規画サイズを元に、形から考える。自分らしさが出る名刺を意識する。
【前期】 4～7回目	「Premiere Pro 基本操作」シーケンスの設定・カット・不透明度・エフェクトの種類 等。
【前期】 8～10回目	「テロップ入れ」文字デザインから走り書きアニメーションまで。
【前期】 11～13回目	「モーショングラフィックス」Adobe After Effectsの基本操作と基本的な動きを制作。
【前期】 14～17回目	■前期試験:「アタック制作」 LIVE WEEKで使用すると想定し、15秒前後のアニメーションを制作。
【後期】 18～20回目	「XD 基本操作」図形の描画・テキスト入力 等。
【後期】 21～24回目	「サイトデザイン」学内アーティストをピックアップし、ワイヤーフレームから考える。
【後期】 25～27回目	「CDジャケットデザイン」架空のバンドや既存アーティストのジャンル違いを想定し制作。
【後期】 28～30回目	「映画ポスターパロディー」ロゴを再現し、写真の加工を行い、本家に近づける。
【後期】 31～34回目	■後期試験:実技試験「スポーツ新聞」 身近な出来事をスポーツ新聞風に仕上げる。アピアランスやスレッドテキスト等を効果的に使う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	Adobe Illustrator・Photoshopは、フライヤー制作や写真の加工をベースに、アイコン・ヘッダーの作成から動画の素材等、幅広くデザインすることが出来ます。よって、どのような業界であってもAdobeソフトを扱えることは大変武器になります。 様々な制作物に取りかかる中で操作を覚えることはもちろん、デザインコンセプトまで説明出来るよう考えながら制作していきます。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワーク基礎Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択		
	学則別表上表記	スタッフワーク基礎Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ/音楽スタッフ総合						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	フェスのテクニカルコーディネート、ステージマネージメントはじめ、アーティストのステージマネージメント、その他スポーツエンタテインメントの演出業務、ファッションショーの演出、ブライダル演出等、エンタテインメントを数多く手掛ける。上記の経験を活かしステージ制作/運営における仕込みからバラシまでの実技指導を行う。						
授業概要							
音響、照明、ローディー、イベント制作のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、タイムスケジュール作成、プロット回収、舞台監督、進行、本番や撤収などのイベント制作スタッフとして必要な実技能力を養う。また、現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。							
到達目標							
・授業を通じてイベントや野外フェスなどの概要を深く理解し、仕込みから本番までの動きを習得する。							
・スタッフ同士の連携や、他のセクションの動きなどコミュニケーションや、アーティストとの信頼関係を築き、円滑に作業ができるように各セクションの専門的技術及び知識を身につける。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	前期授業における内容について、企画制作コースを中心に企画会議を行い、どのような事が出来るか考え、提案する。
【前期】 4～7回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する①(タイムスケジュール作成) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【前期】 8～10回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する②(プロット回収、各セクションとの連携) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【前期】 11～13回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する③(舞台監督、進行、撤収) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	後期授業における内容について、企画制作コースを中心に企画会議を行い、それぞれの企画に対し、どのように対応するか、どのような事が出来るか考え、提案する。
【後期】 21～24回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する④(タイムスケジュール作成) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【後期】 25～27回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する⑤(プロット回収、各セクションとの連携) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【後期】 28～30回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する⑥(舞台監督、進行、撤収) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【後期】 31～34回目	■後期試験:実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解 / コミュニケーション」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	他のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、企画発案からイベント開催、撤収などの音楽スタッフとして必要な実技能力を養います。また、現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につけます。
備考	適時プリント資料配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワーク応用Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択		
	学則別表上表記	スタッフワーク応用Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ/音楽スタッフ総合						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	フェスのテクニカルコーディネート、ステージマネージメントはじめ、アーティストのステージマネージメント、その他スポーツエンタテインメントの演出業務、ファッションショーの演出、ブライダル演出等、エンタテインメントを数多く手掛ける。上記の経験を活かしステージ制作/運営における仕込みからバラシまでの実技指導を行う。						
授業概要							
音響、照明、ローディー、イベント制作のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、タイムスケジュール作成、プロット回収、舞台監督、進行、本番や撤収などのイベント制作スタッフとして必要な実技能力を養う。また、現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。							
到達目標							
・授業を通じてイベントや野外フェスなどの概要を深く理解し、仕込みから本番までの動きを習得する。							
・スタッフ同士の連携や、他のセクションの動きなどコミュニケーションや、アーティストとの信頼関係を築き、円滑に作業ができるように各セクションの専門的技術及び知識を身につける。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	前期授業における内容について、企画制作コースを中心に企画会議を行い、どのような事が出来るか考え、提案する。
【前期】 4～7回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する①(タイムスケジュール作成) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【前期】 8～10回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する②(プロット回収、各セクションとの連携) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【前期】 11～13回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する③(舞台監督、進行、撤収) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	後期授業における内容について、企画制作コースを中心に企画会議を行い、それぞれの企画に対し、どのように対応するか、どのような事が出来るか考え、提案する。
【後期】 21～24回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する④(タイムスケジュール作成) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【後期】 25～27回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する⑤(プロット回収、各セクションとの連携) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【後期】 28～30回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する⑥(舞台監督、進行、撤収) 仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【後期】 31～34回目	■後期試験:実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解/コミュニケーション」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	他のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、企画発案からイベント開催、撤収などの音楽スタッフとして必要な実技能力を養います。また、現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につけます。
備考	適時プリント資料配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	企画制作基礎Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択	
	学則別表上表記	企画制作基礎Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ/音楽スタッフ総合					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	フェスのテクニカルコーディネート、ステージマネージメントはじめ、アーティストのステージマネージメント、その他スポーツエンタテインメントの演出業務、ファッションショーの演出、ブライダル演出等、エンタテインメントを数多く手掛ける。上記の経験を活かし企画制作の実践指導を行う。					
授業概要						
①前期、後期でそれぞれ自主イベントを開催し、会場の選択、予約、準備、予算管理、ゲストブッキング、当日運営など、より実践的な内容を体験していき経験を積んでいく。 ②前期では音楽イベント以外のイベントを実施し、後期では卒業制作で、それぞれ学校外の会場にて実践授業を行い、プロとしての意識、考えを持ってもらえるように、理解を深める。						
到達目標						
・1年次に学んできた知識を基に、実際に業務で必要となる事柄や、必要となる資料の作成に取り組み、社会で実践できるだけのスキルを身につけ、イベント業界における考え方を理解し、結果的にビジネスとして成立させる必要があること、またそのための収支の考え方を理解するとともに、実際に自らイベントの予算組み、決済までの流れや、ビジネスマナーを身に着ける所までの一貫して身に着ける。 ・取り組むイベントに対してその工程、必要となる制作業務を理解し、適切かつ臨機応変に、完結できるようにしていく。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	本年度授業概要説明、自主イベント開催概要条件決定と内容のディスカッション。
【前期】 4～7回目	会場候補の決定、下見の予約、内容のプレゼンテーション。
【前期】 8～10回目	予算割、許可などの申請有無の確認、ゲスト選定、会場下見。
【前期】 11～13回目	会場下見した上で、内容の調整、ゲストへのオファー、プロモーション活動。
【前期】 14～17回目	■前期試験:企画に必要な知識で前期学んだ内容の筆記試験を実施、理解度を問う。
【後期】 18～20回目	前期イベントの反省、後期イベントについてのディスカッション、ゲスト候補、各自担当割り。
【後期】 21～24回目	プロモーションプラン決定、内容プランニング、内容プレゼン、ゲスト候補決定、全体スケジュール決定。
【後期】 25～27回目	自主イベント予算書作成(校内用稟議書作成)、情報解禁含め、プロモーションプラン実施、準備など。
【後期】 28～30回目	当日タイムスケジュール、映像など制作確定、予算最終確認、集客見込み検討の上、最終プロモーション。
【後期】 31～34回目	■後期試験:卒業制作イベント実施 ■後期試験:イベント通じての2年間で学んだ企画に必要な知識の筆記試験を実施、理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解 / 行動力 / アイディア」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	今期のイベント授業を成功できれば、企画制作会社の即戦力として社会に出ていけるはずです。 イベント企画の提案から予算組み、各所折衝、プロモーション活動、使用許可などの事務、予算管理、実施から報告書づくりまで、全体の流れを学び、イベントプロデューサー・ディレクターとしてのスキルを習得します。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	企画制作応用Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択	
	学則別表上表記	企画制作応用Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ/音楽スタッフ総合					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □					
担当講師 実務経歴	フェスのテクニカルコーディネート、ステージマネージメントはじめ、アーティストのステージマネージメント、その他スポーツエンタテインメントの演出業務、ファッションショーの演出、ブライダル演出等、エンタテインメントを数多く手掛ける。上記の経験を活かし企画制作の実践指導を行う。					
授業概要						
①前期、後期でそれぞれ自主イベントを開催し、会場の選択、予約、準備、予算管理、ゲストブッキング、当日運営など、より実践的な内容を体験していき経験を積んでいく。 ②前期では音楽イベント以外のイベントを実施し、後期では卒業制作で、それぞれ学校外の会場にて実践授業を行い、プロとしての意識、考えを持ってもらえるように、理解を深める。						
到達目標						
・1年次に学んできた知識を基に、実際に業務で必要となる事柄や、必要となる資料の作成に取り組み、社会で実践できるだけのスキルを身につけ、イベント業界における考え方を理解し、結果的にビジネスとして成立させる必要があること、またそのための収支の考え方を理解するとともに、実際に自らイベントの予算組み、決済までの流れや、ビジネスマナーを身に着ける所までの一貫して身に着ける。 ・取り組むイベントに対してその工程、必要となる制作業務を理解し、適切かつ臨機応変に、完結できるようにしていく。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	本年度授業概要説明、自主イベント開催概要条件決定と内容のディスカッション。
【前期】 4～7回目	会場候補の決定、下見の予約、内容のプレゼンテーション。
【前期】 8～10回目	予算割、許可などの申請有無の確認、ゲスト選定、会場下見。
【前期】 11～13回目	会場下見した上で、内容の調整、ゲストへのオファー、プロモーション活動。
【前期】 14～17回目	■前期試験:企画に必要な知識で前期学んだ内容の筆記試験を実施、理解度を問う。
【後期】 18～20回目	前期イベントの反省、後期イベントについてのディスカッション、ゲスト候補、各自担当割り。
【後期】 21～24回目	プロモーションプラン決定、内容プランニング、内容プレゼン、ゲスト候補決定、全体スケジュール決定。
【後期】 25～27回目	自主イベント予算書作成(校内用稟議書作成)、情報解禁含め、プロモーションプラン実施、準備など。
【後期】 28～30回目	当日タイムスケジュール、映像など制作確定、予算最終確認、集客見込み検討の上、最終プロモーション。
【後期】 31～34回目	■後期試験:イベント通じての2年間で学んだ企画に必要な知識の筆記試験を実施、理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解 / 行動力 / アイディア」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	今期のイベント授業を成功できれば、企画制作会社の即戦力として社会に出ていけるはずです。 イベント企画の提案から予算組み、各所折衝、プロモーション活動、使用許可などの事務、予算管理、実施から報告書づくりまで、全体の流れを学び、イベントプロデューサー・ディレクターとしてのスキルを習得します。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンドⅡ		授業形態 / 必選	講義	必修		
	学則別表上表記	業界知識Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA/サウンドデザイナー/照明/ステージ総合/アーティストスタッフ/音楽スタッフ総合						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☐	非該当 ☒
担当講師 実務経歴							
授業概要							
著作物の定義や著作権者の権利及び著作隣接権について学び、それぞれの権利がどのような働きをしているのかを理解することが出来る。							
到達目標							
音楽ビジネスの仕組みを知り、著作権にまつわる企業や団体がどのような役割を果たしているかを理解し、印税の仕組みや金額、著作権保護の条件や重要性についての理解を深める。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	形のない知的財産について理解し、著作権を守る意義について理解する。 著作物の定義と著作物の種類を理解する 著作権者の権利の内容を理解する 著作権者の権利の支分権と内容を結びつけることが出来る ①
【前期】 4～7回目	著作権者の権利の支分権と内容を結びつけることが出来る ② 著作隣接権の内容について理解する ① 著作隣接権の内容について理解する ② 音源の権利 原盤について理解する
【前期】 8～10回目	DVD視聴NHKスペシャル「知は誰のものか」インターネットにおける違法コピーと著作権の保護期間延長について 前回のDVDからの問題点のまとめ 著作権保護期間延長に関する作文 【作文提出】 音楽業界の基本構造① プロダクションの役割を理解する
【前期】 11～13回目	音楽業界の基本構造② レコード会社の役割を理解する 音楽業界の基本構造③ 音楽出版社の役割を理解する～著作権ビジネスの流れを理解する 音楽ビジネスの現状
【前期】 14～18回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 前期テスト実施 前期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善することができる。
【後期】 19～21回目	JASRACの役割について理解を深める 著作権管理事業の現状 JASRACの使用料徴収の是非について自分の意見をまとめ 【作文作成&提出】
【後期】 22～25回目	印税の仕組みがどのようにになっているか理解出来るようになる レーベルの収益について理解することができる。 リクーブラインについて理解することができる。 CD以外の著作権使用料① インタラクティブ配信
【後期】 26～28回目	CD以外の著作権使用料② 動画投稿サイト CD以外の著作権使用料③ 放送～カラオケ CD以外の著作権使用料④ 演奏/上演とレンタル 私的録音補償金
【後期】 29～31回目	著作物の利用に関して 著作物の利用手続きと所有権と著作権の違いを理解する 著作物の自由利用の範囲について理解を深める 著作権侵害の行為と罰則について理解を深める
【後期】 32～36回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 後期テスト実施 後期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善することができる。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	前期では著作権の基本的な知識と音楽業界の中心となるプロダクション、レコード会社、音楽出版社の役割について学びます。 後期では主にJASRACの役割と印税について学びます。JASRACに関しては、インターネット上で不確かな情報が飛び交っているのが現状ですが、自身で正しい判断が出来るような知識を身につけてください。 仕事内容の伝わりにくい業界ですので、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。
備考	ホームルームも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。

音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフコース
2年次 受講科目一覧

マネージャー専攻

文化・教養専門課程（文化・教養分野）

1 単位時間 4 5 分

授業科目		年間授業 時間数	週授業 時間数	単位数
実習	分野別実習Ⅱ（前期）	34	2	1
実習	分野別実習Ⅱ（後期）	34	2	1
講義	一般教養Ⅱ	68	2	4
講義	音楽史Ⅱ	68	2	4
講義	舞台知識Ⅱ	68	2	4
講義	P C 知識Ⅱ	68	2	4
講義	音楽芸能知識Ⅱ	68	2	4
実習	プロダクトデベロップメントⅡ	68	2	2
実習	デザインⅡ	68	2	2
演習	企画制作基礎Ⅱ	68	2	4
演習	企画制作応用Ⅱ	68	2	4
演習	スタッフワーク基礎Ⅱ	68	2	4
演習	スタッフワーク応用Ⅱ	68	2	4
講義	業界知識Ⅱ	72	2	4
合計		888	26	46

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	一般教養Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	必修		
	学則別表上表記	一般教養Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA音響/サウンドデザイナー/照明/ステージ総合/音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☐	非該当 ■
担当講師 実務経歴							

授業概要
①学生と社会人の違いを知り、社会人として必要なビジネスの基礎を中心にコミュニケーション力、ビジネスマナー、日本のしきたりを学ぶ。 ②具体的にはビジネスマナーの基本である第一印象、あいさつ、みだしなみ、態度、ことばづかい、話し方・聞き方、ビジネス文書、来客対応、仕事の進め方、食事のマナー、日本のしきたりまで学習する。 ③就職活動に必要な、自己PR作成や立ち居振舞いを実践し面接試験をクリアできる基本を学ぶ。
到達目標
・就職後に役立つビジネスマナーや社会人として求められる能力を習得することにより、社会人になるにあたっての意識の向上と基本的な心構えをもつことができ、組織にとって必要な人材になることができるようになる。 ・対人関係においてコミュニケーションを向上し、円滑な人間関係を築くための基礎を身につけることができる。 ・ビジネスマナーと接遇の基本の考え方を理解し、体得することによって実務能力を実践的に使えるようになる。就職活動方法及び面接・筆記試験対策を実践形式で行い、就職内定を最終目標とする。

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	自己紹介：対策と解説
【前期】 4～7回目	マナー基本編の復習と応用編(ステップupマナー)
【前期】 8～10回目	マナーの実技編とアドバイス
【前期】 11～13回目	コミュニケーションの復習(話し方・聞き方・表情・態度)・実技編
【前期】 14～17回目	前期試験：マナー・コミュニケーションのレポート提出と実技の実施
【後期】 18～20回目	就活の為のマナー編(面接時における対応・入室・座・退室)
【後期】 21～24回目	質問に対する返答への対策
【後期】 25～27回目	社会人としての仕事への取り組み方
【後期】 28～30回目	仕事をして行く中で マナー・ルールが相手の立場を考え仕事を円滑に運んだり、トラブルを未然に防いだりする事の必要性
【後期】 31～34回目	後期試験：自己アピール(プレゼン)と好感の持てる社会人とは レポート提出
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 /意欲 /理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	会社のしくみを学び、仕事の基本を知ることはこれから社会に出るみなさんにとって大きな自信につながります。「企業は人なり」と言われるように社員のちょっとした言葉や行動が会社の印象に関わるからこそビジネスマナーが大切です。あらゆるビジネスシーンで求められる接遇力をしっかり習得します。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	音楽・芸能業界史		授業形態 / 必選	講義	必修		
	学則別表上表記	音楽史Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	米国広報プログラムによりニューヨークにおいて'92年プロデュース研修。東京や福岡でコンサート、演劇やファッションショーなどの企画、制作やプロデュースを数多く手掛ける。大手プロダクションにおいて福岡のダンスヴォーカルユニット、モデルや俳優の育成からマネージメントまで幅広く活動中。 上記の経験を活かし企画制作における実践指導を行う。						
授業概要							
①プロダクションにおけるエンタテインメントの流れを学習する。 ②歌謡曲の流行とアイドル業界の流れを学習する。							
・エンタテインメント業界・コンテンツ業界の理解。 ・音楽・放送・映画業界の理解。 ・その他、ゲームやアニメ業界の理解。 ・コンテンツ業界の中において、音楽芸能業界の歴史を知る事で、将来的な流行り廃りを養える目を身につける。 ・音楽・エンタテインメントの世界において過去に起こったブームや流行を知り、分析し、これからのトレンドを予測する。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	大手プロダクションの成り立ちと歴史。
【前期】 4～7回目	新興プロダクションの成り立ち。
【前期】 8～10回目	プロダクションの役割。
【前期】 11～13回目	プロダクションと音楽・TV・映画の関係。
【前期】 14～17回目	プロダクションと所属芸能人との関係。
【後期】 18～20回目	外国と日本のプロダクションとの比較。
【後期】 21～24回目	映画における音楽・芸能との関係。
【後期】 25～27回目	映画業界の役割。
【後期】 28～30回目	映画業界からTVへの軌跡。
【後期】 31～34回目	ネット配信への転換。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	コンテンツ業界の内容や歴史・流行を知る事で、エンタテインメント業界での様々な人たちとの交流がより楽しく、より深くなることでしょう。
備考	適宜プリントおよびPDFを配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	舞台知識Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	必修	
	学則別表上表記	舞台知識Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ☒ 非該当 ☐
担当講師 実務経歴	自らのバンド経験を生かし、福岡を中心に楽器スタッフやイベントスタッフとして活躍。NUMBER SHOT・中洲ジャズ・Sunset Liveなどにもスタッフとして参加。 上記の経験を活かし舞台知識についての講義を行う。					
授業概要						
①芸能の発生から芝居小屋の広がり、近代の公会堂、劇場、ホールへと歴史的に変化していった、日本の劇場、ホールについての学習する。 ②併せてステージ上で使う備品・楽器などについても見識を深める。						
到達目標						
・卒業後、劇場等演出空間での創造性溢れる自由な表現活動に携わるスタッフに求められるのは、高度な創造と制作である。 さらには円滑でより安全な公演実施には、音響/照明などの分野を超えた共通認識が必要とされ、公演に携わる者のコミュニケーションのために、必要不可欠な知識を習得が求められる。 制作スタッフは専門教科内で身につける知識とは別に、劇場が歴史的に、また洋の東西を超えて文化創成/文化発信/文化体感の空間であることを認識することで、単なる技術者にとどまることなく、文化の一翼を担うインテリジェンスを身につけた存在になることを到達目標とする。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	劇場・ホールの役割とその機能や構成、演目の種類等について見識を深める。
【前期】 4～7回目	舞台用語・業界用語や舞台機能の仕組み、尺貫法など
【前期】 8～10回目	ステージ上で使われる楽器等の知識、ステージプロット上で使用する記号・略号について
【前期】 11～13回目	LIVE WEEKに向けての資料作りの見やすさ、正確さについて
【前期】 14～17回目	■前期試験：実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	劇場・ホールにおける安全衛生管理について。それぞれの職務と責任について。
【後期】 21～24回目	安全衛生管理の実務やその取り組みについて。
【後期】 25～27回目	音響・照明・楽器等、それぞれのセクションとの円滑なコミュニケーションについて。
【後期】 28～30回目	FINALWEEKに向けての各セクションとの打合せの重要性や下準備について。2年間の総仕上げ
【後期】 31～34回目	■後期試験：実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。合わせて2年間の理解度も問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	卒業後の進路であるイベント制作会社、プロダクション等の現場に臨むに当たり、これからエンターテインメント就労する中では、習得する機会のない基礎的な舞台全般知識の習得を目指します。
備考	必要に応じて講師作成のテキスト配布やデータの共有を行います。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	PC知識Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	必須
	学則別表上表記	PC知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	CM制作会社でビジュアル制作に携わった後、個人ブランドのビジュアルデザインを担当。広告・フライヤー・ビジュアル制作などを中心に活動している。 デザイン制作だけでなく、コンセプト設計やビジュアルディレクションなど、企画から表現までを意識した制作を行う。				
授業概要					
この講義では、音楽業界(企画制作、マネージャー)に特化したMicrosoft Office(Word/Excel/PowerPoint)やAdobe(Photoshop/Illustrator)ソフトウェアの概要と応用的な使いかたを学ぶ。					
到達目標					
・Word(文書作成)、Excel(表計算)、PowerPoint(プレゼンテーション)Photoshop(画像加工・合成)・Illustrator(ロゴ・デザイン作成)といったそれぞれの特性を理解し、与えられた課題を作成できることを目標とする。					
・就職後、ビジネス文書はこれらのソフトウェアのいずれかで作成されていることがほとんどである。 したがって、この講義をマスターすることは組織から必要とされる人材の基本的な職務遂行能力の獲得に直結している。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	SNS分析。PC全般の活用の仕方及び1年生で学んだことの再確認。
【前期】 4～7回目	Photoshopにて人物のレタッチ方法や手法の習得。
【前期】 8～10回目	Illustratorにてデザイン方法や手法の習得。
【前期】 11～13回目	様々なソフトウェアを使用してキャッチコピーやロゴ制作で使える手法の習得。
【前期】 14～17回目	■ 前期試験:SNSについての筆記試験を実施。必要な知識が身についているか、理解できているかなどを出題。
【後期】 18～20回目	パワーポイントを使ってイベントの情報共有してみよう。
【後期】 21～24回目	IllustratoやPhotoshopを使ってTシャツをデザイン。
【後期】 25～27回目	IllustratoやPhotoshopを使って雑誌を作成。
【後期】 28～30回目	今まで使ってきたソフトウェアを活用し提案書を作成。 Microsoft Office(Word/Excel/PowerPoint)やAdobe(Photoshop/Illustrator)を適切な用途で使う。
【後期】 31～34回目	■ 後期試験: 2年間で学んだことのまとめ筆記試験。総合的な理解度を評価。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	まずはデザインすることの楽しさを学んで、慣れていきましょう！頭の中で作りたいものを実際に作れる楽しさ、難しさなどなどたくさん学び他の授業の制作にも役立てて欲しいです。基礎の後は自分の個性をしっかりとだしてたくさん制作しましょう！
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	マネジメント知識Ⅱ		授業形態 / 必選	講義	選択
	学則別表上表記	音楽芸能知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■ 音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □				
担当講師 実務経歴	米国広報プログラムによりニューヨークにおいて'92年プロデュース研修。東京や福岡でコンサート、演劇やファッションショーなどの企画、制作やプロデュースを数多く手掛ける。大手プロダクションにおいて福岡のダンスヴォーカルユニット、モデルや俳優の育成からマネージメントまで幅広く活動中。 上記の経験を活かし音楽及び芸能業界における歴史に関する講義を行う。				
授業概要					
タレント・アーティストのスケジュール管理方法や著作権などのマネージャーに必要な基礎知識をより深く理解し、多種多様な音楽・芸能マネージャーの中から目標選択できるように学び、エンターテインメント業界において、即戦力となる能力を身につけ、各セクションと円滑な関係を築けるような対人スキルも学ぶ。					
到達目標					
マネージャーとして学んだスケジュール管理・著作権・必要な知識を、実習を通して体験できるようにする。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	授業概要と年間スケジュールの説明、音楽・芸能業界の相関図に関する講義
【前期】 4～7回目	ジャンルによるマネジメント作業の相違
【前期】 8～10回目	人気番組と視聴率獲得のメソッド
【前期】 11～13回目	CMIに関して(作成の経緯から完成まで)
【前期】 14～17回目	■前期試験:筆記試験を実施し、著作権&業界用語に関する穴埋め問題にて理解度を問う。
【後期】 18～20回目	TV番組契約に関する事項①
【後期】 21～24回目	出版物の契約に関する事項②
【後期】 25～27回目	音楽ソフト・映像ソフト契約に関する事項③
【後期】 28～30回目	CM契約に関する事項④
【後期】 31～34回目	■後期試験:筆記試験を実施し、著作権&業界用語に関する穴埋め問題にて理解度を問う。 二年次講義内容まとめ
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	この授業を受講することによりエンタテインメント業界でのマネージャーの役割がいかに大事なのかを知り、自分が何をすべきか、何をやりたいのかに気がつき、広い視野を持ってテクニカルスタッフの作業内容を理解する事で、現場の作業への対応力と応用力を磨くことができます。
備考	講師作成のプリント資料を授業毎に配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	プロダクトデベロップメントⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択		
	学則別表上表記	プロダクトデベロップメントⅡ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	デザイナー歴7年以上。アーティストのジャケット写真・イベントフライヤーデザインを中心に、日本国内外で1,500点以上を制作。撮影・ビジュアルディレクションも行い、企画から制作まで一貫してブランド構築を手がける。自身のアパレルブランド運営や企業案件など、多岐にわたるジャンルのデザイン制作に携わっている。						
授業概要							
1年次に経験したイベント主催・フェス実習・プロダクト制作の基礎を土台とし、より実践的かつ現場基準での制作力を高める。企画力・デザイン力だけでなくその次までのトータルプロデュース力を養う。実際の案件やイベントを想定し、ブランディング・ターゲット設定・コンセプト設計からビジュアル制作、プレゼンテーションまでを一貫して行い、制作側としての視点だけでなく、主催者・出演者・観客それぞれの立場を理解しながら、より実践的なプロダクト開発を行う。							
到達目標							
①基礎制作から一歩進んだ応用デザイン・企画力を身につける。 ②ブランドコンセプトを自ら構築し統一感のある制作ができる。 ③実際の現場を想定したクオリティ・スピード感で制作できる。 ④ターゲットや目的を明確にしたプロダクト提案ができる。 ⑤チーム制作において主体的に動き、周囲と連携しながら形にできる。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	応用基礎・ブランド再構築。一年時の復習・基礎内容確認。
【前期】 4～7回目	プロダクト制作(納期を決めスピード感に慣れる・フライヤーやグッズ制作など)
【前期】 8～10回目	チーム制作・チームを組み1から企画やデザインを作成。
【前期】 11～13回目	チーム制作の発表・意見交換をしつつ完成形を作り上げる
【前期】 14～17回目	■ 前期試験: デザインの課題を出すのでテスト時間内で完成させ、提出まで。
【後期】 18～20回目	①フェス企画を仮定し制作。キャスティングからフライヤー制作・グッズデザイン制作
【後期】 21～24回目	②フェス企画を仮定し制作。キャスティングからフライヤー制作・グッズデザイン制作
【後期】 25～27回目	①2年間の思い出デザイン制作。
【後期】 28～30回目	②2年間の思い出デザイン制作。
【後期】 31～34回目	総締め括り ■ 後期試験: デザインの課題を出すのでテスト時間内で完成させ、提出まで。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	一年次にしっかりできていた新二年生！今年もしっかり楽しくデザインを作りつつ、どう魅せるか、どう売のかなどプロデュース力やセンスを磨いていきましょう。自身がやりたいことを積極的に作り上げてください。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	WEBデザインⅡ		授業形態 / 必選	実習	選択	
	学則別表上表記	デザインⅡ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	2単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	イラストレーター。建設会社や介護施設サイトにイラスト起用。 大手宿泊施設の冊子挿絵や温泉施設のポスター、様々なパンフレットデザインまで幅広く活動。					
授業概要						
タレント・アーティストのオフィシャルホームページやファンクラブの運営を想定し、実際にWebページの作成方法及び編集方法を学ぶ。 学内アーティストをピックアップし、発展的なプロモーション活動を行う。						
到達目標						
・タレント・アーティストのオフィシャルWEBサイトやファンクラブの運営を想定し、WEBサイトを制作する。 ・ユーザーの目線に立ったサイト構築を学習する。 ・WEBサイトを構築する機会に困らない基礎知識を身に付け、完成図を伝えられるようになる。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	SEO基礎知識。
【前期】 4～7回目	WEB広告基礎知識。
【前期】 8～10回目	SNS活用方法。(Twitter、Facebook)
【前期】 11～13回目	CMSに関して。(理解から活用方法まで)
【前期】 14～17回目	■前期試験：前期の授業内容からの筆記試験を実施。内容を理解しているかを問う。
【後期】 18～20回目	その他運用・更新に関する基礎知識。
【後期】 21～24回目	モバイル端末におけるWEB基礎知識。
【後期】 25～27回目	モバイルファーストWEBサイト構築に関して①
【後期】 28～30回目	モバイルファーストWEBサイト構築に関して②
【後期】 31～34回目	■後期試験：後期の授業内容からの筆記試験を実施。内容を理解しているかを問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解」の3項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	多様な端末が普及したことで現在インターネットは新しいコミュニケーションツールとして定着しました。 サイト制作者とユーザーのコミュニケーションをより良質にするために、欠かせない知識を習得します。
備考	特になし

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	企画制作基礎Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択	
	学則別表上表記	企画制作基礎Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ/音楽スタッフ総合					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ■ 非該当 □					
担当講師 実務経歴	フェスのテクニカルコーディネート、ステージマネージメントはじめ、アーティストのステージマネージメント、その他スポーツエンタテインメントの演出業務、ファッションショーの演出、ブライダル演出等、エンタテインメントを数多く手掛ける。上記の経験を活かし企画制作の実践指導を行う。					
授業概要						
①前期、後期でそれぞれ自主イベントを開催し、会場の選択、予約、準備、予算管理、ゲストブッキング、当日運営など、より実践的な内容を体験していき経験を積んでいく。 ②前期では音楽イベント以外のイベントを実施し、後期では卒業制作で、それぞれ学校外の会場にて実践授業を行い、プロとしての意識、考えを持ってもらえるように、理解を深める。						
到達目標						
・1年次に学んできた知識を基に、実際に業務で必要となる事柄や、必要となる資料の作成に取り組み、社会で実践できるだけのスキルを身につけ、イベント業界における考え方を理解し、結果的にビジネスとして成立させる必要があること、またそのための収支の考え方を理解するとともに、実際に自らイベントの予算組み、決済までの流れや、ビジネスマナーを身に着ける所までの一貫して身に着ける。 ・取り組むイベントに対してその工程、必要となる制作業務を理解し、適切かつ臨機応変に、完結できるようにしていく。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	本年度授業概要説明、自主イベント開催概要条件決定と内容のディスカッション。
【前期】 4～7回目	会場候補の決定、下見の予約、内容のプレゼンテーション。
【前期】 8～10回目	予算割、許可などの申請有無の確認、ゲスト選定、会場下見。
【前期】 11～13回目	会場下見した上で、内容の調整、ゲストへのオファー、プロモーション活動。
【前期】 14～17回目	■前期試験：企画に必要な知識で前期学んだ内容の筆記試験を実施、理解度を問う。
【後期】 18～20回目	前期イベントの反省、後期イベントについてのディスカッション、ゲスト候補、各自担当割り。
【後期】 21～24回目	プロモーションプラン決定、内容プランニング、内容プレゼン、ゲスト候補決定、全体スケジュール決定。
【後期】 25～27回目	自主イベント予算書作成(校内用稟議書作成)、情報解禁含め、プロモーションプラン実施、準備など。
【後期】 28～30回目	当日タイムスケジュール、映像など制作確定、予算最終確認、集客見込み検討の上、最終プロモーション。
【後期】 31～34回目	■後期試験：卒業制作イベント実施 ■後期試験：イベント通じての2年間で学んだ企画に必要な知識の筆記試験を実施、理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解 / 行動力 / アイディア」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	今期のイベント授業を成功できれば、企画制作会社の即戦力として社会に出ていけるはずです。 イベント企画の提案から予算組み、各所折衝、プロモーション活動、使用許可などの事務、予算管理、実施から報告書づくりまで、全体の流れを学び、イベントプロデューサー・ディレクターとしてのスキルを習得します。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	企画制作応用Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択	
	学則別表上表記	企画制作応用Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ/音楽スタッフ総合					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☒ 非該当 ☐					
担当講師 実務経歴	フェスのテクニカルコーディネート、ステージマネージメントはじめ、アーティストのステージマネージメント、その他スポーツエンタテインメントの演出業務、ファッションショーの演出、ブライダル演出等、エンタテインメントを数多く手掛ける。上記の経験を活かし企画制作の実践指導を行う。					
授業概要						
①前期、後期でそれぞれ自主イベントを開催し、会場の選択、予約、準備、予算管理、ゲストブッキング、当日運営など、より実践的な内容を体験していき経験を積んでいく。 ②前期では音楽イベント以外のイベントを実施し、後期では卒業制作で、それぞれ学校外の会場にて実践授業を行い、プロとしての意識、考えを持ってもらえるように、理解を深める。						
到達目標						
・1年次に学んできた知識を基に、実際に業務で必要となる事柄や、必要となる資料の作成に取り組み、社会で実践できるだけのスキルを身につけ、イベント業界における考え方を理解し、結果的にビジネスとして成立させる必要があること、またそのための収支の考え方を理解するとともに、実際に自らイベントの予算組み、決済までの流れや、ビジネスマナーを身に着ける所までの一貫して身に着ける。 ・取り組むイベントに対してその工程、必要となる制作業務を理解し、適切かつ臨機応変に、完結できるようにしていく。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	本年度授業概要説明、自主イベント開催概要条件決定と内容のディスカッション。
【前期】 4～7回目	会場候補の決定、下見の予約、内容のプレゼンテーション。
【前期】 8～10回目	予算割、許可などの申請有無の確認、ゲスト選定、会場下見。
【前期】 11～13回目	会場下見した上で、内容の調整、ゲストへのオファー、プロモーション活動。
【前期】 14～17回目	■前期試験:企画に必要な知識で前期学んだ内容の筆記試験を実施、理解度を問う。
【後期】 18～20回目	前期イベントの反省、後期イベントについてのディスカッション、ゲスト候補、各自担当割り。
【後期】 21～24回目	プロモーションプラン決定、内容プランニング、内容プレゼン、ゲスト候補決定、全体スケジュール決定。
【後期】 25～27回目	自主イベント予算書作成(校内用稟議書作成)、情報解禁含め、プロモーションプラン実施、準備など。
【後期】 28～30回目	当日タイムスケジュール、映像など制作確定、予算最終確認、集客見込み検討の上、最終プロモーション。
【後期】 31～34回目	■後期試験:イベント通じての2年間で学んだ企画に必要な知識の筆記試験を実施、理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点/意欲/理解/行動力/アイデア」の5項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	今期のイベント授業を成功できれば、企画制作会社の即戦力として社会に出ていけるはずです。 イベント企画の提案から予算組み、各所折衝、プロモーション活動、使用許可などの事務、予算管理、実施から報告書づくりまで、全体の流れを学び、イベントプロデューサー・ディレクターとしてのスキルを習得します。
備考	特になし。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワーク基礎Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択		
	学則別表上表記	スタッフワーク基礎Ⅱ	年次	2年次			
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位	
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ/音楽スタッフ総合						
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目					該当 ■	非該当 □
担当講師 実務経歴	フェスのテクニカルコーディネート、ステージマネージメントはじめ、アーティストのステージマネージメント、その他スポーツエンタテインメントの演出業務、ファッションショーの演出、ブライダル演出等、エンタテインメントを数多く手掛ける。上記の経験を活かしステージ制作/運営における仕込みからバラシまでの実技指導を行う。						
授業概要							
音響、照明、ローディー、イベント制作、のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、タイムスケジュール作成、プロット回収、舞台監督、進行、本番や撤収などのイベント制作スタッフとして必要な実技能力を養う。また、現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。							
到達目標							
・授業を通じてイベントや野外フェスなどの概要を深く理解し、仕込みから本番までの動きを習得する。 ・スタッフ同士の連携や、他のセクションの動きなどコミュニケーションや、アーティストとの信頼関係を築き、円滑に作業ができるように各セクションの専門的技術及び知識を身につける。							

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	前期授業における内容について、企画制作コースを中心に企画会議を行い、どのような事が出来るか考え、提案する。
【前期】 4～7回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する①(タイムスケジュール作成)仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【前期】 8～10回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する②(プロット回収、各セクションとの連携)仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【前期】 11～13回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する③(舞台監督、進行、撤収)仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	後期授業における内容について、企画制作コースを中心に企画会議を行い、それぞれの企画に対し、どのように対応するか、どのような事が出来るか考え、提案する。
【後期】 21～24回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する④(タイムスケジュール作成)仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【後期】 25～27回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する⑤(プロット回収、各セクションとの連携)仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【後期】 28～30回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する⑥(舞台監督、進行、撤収)仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【後期】 31～34回目	■後期試験:実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解 / コミュニケーション」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	他のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、企画発案からイベント開催、撤収などの音楽スタッフとして必要な実技能力を養います。また、現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につけます。
備考	適時プリント資料配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	スタッフワーク応用Ⅱ		授業形態 / 必選	演習	選択	
	学則別表上表記	スタッフワーク応用Ⅱ	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	34回(68単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 アーティストスタッフ/音楽スタッフ総合					
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目			該当 ■	非該当 □	
担当講師 実務経歴	フェスのテクニカルコーディネート、ステージマネージメントはじめ、アーティストのステージマネージメント、その他スポーツエンタテインメントの演出業務、ファッションショーの演出、ブライダル演出等、エンタテインメントを数多く手掛ける。上記の経験を活かしステージ制作/運営における仕込みからバラシまでの実技指導を行う。					
授業概要						
音響、照明、ローディー、イベント制作、のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、タイムスケジュール作成、プロット回収、舞台監督、進行、本番や撤収などのイベント制作スタッフとして必要な実技能力を養う。また、現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につける。						
到達目標						
・授業を通じてイベントや野外フェスなどの概要を深く理解し、仕込みから本番までの動きを習得する。 ・スタッフ同士の連携や、他のセクションの動きなどコミュニケーションや、アーティストとの信頼関係を築き、円滑に作業ができるように各セクションの専門的技術及び知識を身につける。						

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	前期授業における内容について、企画制作コースを中心に企画会議を行い、どのような事が出来るか考え、提案する。
【前期】 4～7回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する①(タイムスケジュール作成)仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【前期】 8～10回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する②(プロット回収、各セクションとの連携)仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【前期】 11～13回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する③(舞台監督、進行、撤収)仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【前期】 14～17回目	■前期試験:実技試験及び前期の授業範囲内で筆記試験を実施。前期授業の理解度を問う。
【後期】 18～20回目	後期授業における内容について、企画制作コースを中心に企画会議を行い、それぞれの企画に対し、どのように対応するか、どのような事が出来るか考え、提案する。
【後期】 21～24回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する④(タイムスケジュール作成)仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【後期】 25～27回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する⑤(プロット回収、各セクションとの連携)仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【後期】 28～30回目	出来上がったプランに対し、必要なものを検討・準備する⑥(舞台監督、進行、撤収)仕込み・模擬リハーサル・模擬本番・バラシを通して制作の役割を学ぶ。
【後期】 31～34回目	■後期試験:実技試験及び後期の授業範囲内で筆記試験を実施。後期授業の理解度を問う。
評価方法	S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。 学期末に実施する試験により「平常点 / 意欲 / 理解 / コミュニケーション」の4項目の到達度を総合的に評価する。
学生へのメッセージ	他のスタッフと連携し仕込みから本番までを想定した流れの中で、企画発案からイベント開催、撤収などの音楽スタッフとして必要な実技能力を養います。また、現場で想定されるトラブル対応なども実践する事で、臨機応変に対応できる能力と経験を身につけます。
備考	適時プリント資料配布。

専門学校ESPエンタテインメント福岡

授業科目名	オンデマンドⅡ		授業形態 / 必選	講義	必修
	学則別表上表記	業界知識Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	36回(72単位時間)	年間単位数	4単位
科目設置学科コース	■音楽芸能スタッフ科 PA音響/サウンドデザイナー/照明/ステージ総合/音楽スタッフ総合/アーティストスタッフ				
授業科目要件	実務経験のある教員等による授業科目 該当 ☐ 非該当 ☒				
担当講師 実務経歴					
授業概要					
著作物の定義や著作権者の権利及び著作隣接権について学び、それぞれの権利がどのような働きをしているのかを理解することが出来る。					
到達目標					
音楽ビジネスの仕組みを知り、著作権にまつわる企業や団体がどのような役割を果たしているかを理解し、印税の仕組みや金額、著作権保護の条件や重要性についての理解を深める。					

授業計画・内容	
【前期】 1～3回目	形のない知的財産について理解し、著作権を守る意義について理解する。 著作物の定義と著作物の種類を理解する 著作権者の権利の内容を理解する 著作権者の権利の支分権と内容を結びつけることが出来る ①
【前期】 4～7回目	著作権者の権利の支分権と内容を結びつけることが出来る ② 著作隣接権の内容について理解する ① 著作隣接権の内容について理解する ② 音源の権利 原盤について理解する
【前期】 8～10回目	DVD視聴NHKスペシャル「知は誰のものか」インターネットにおける違法コピーと著作権の保護期間延長について 前回のDVDからの問題点のまとめ 著作権保護期間延長に関する作文 【作文提出】 音楽業界の基本構造① プロダクションの役割を理解する
【前期】 11～13回目	音楽業界の基本構造② レコード会社の役割を理解する 音楽業界の基本構造③ 音楽出版社の役割を理解する～著作権ビジネスの流れを理解する 音楽ビジネスの現状
【前期】 14～18回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 前期テスト実施 前期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善することができる。
【後期】 19～21回目	JASRACの役割について理解を深める 著作権管理事業の現状 JASRACの使用料徴収の是非について自分の意見をまとめ 【作文作成&提出】
【後期】 22～25回目	印税の仕組みがどのようにになっているか理解出来るようになる レーベルの収益について理解することができる。 リクーブラインについて理解することができる。 CD以外の著作権使用料① インタラクティブ配信
【後期】 26～28回目	CD以外の著作権使用料② 動画投稿サイト CD以外の著作権使用料③ 放送～カラオケ CD以外の著作権使用料④ 演奏/上演とレンタル 私的録音補償金
【後期】 29～31回目	著作物の利用に関して 著作物の利用手続きと所有権と著作権の違いを理解する 著作物の自由利用の範囲について理解を深める 著作権侵害の行為と罰則について理解を深める
【後期】 32～36回目	テスト対策 ここまでのポイントをまとめたプリント 後期テスト実施 後期テストの内容を振り返り、修正ポイントを確認し改善することができる。
評価方法	前期試験、後期試験ともに筆記試験を実施し、S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価を行う。
学生へのメッセージ	前期では著作権の基本的な知識と音楽業界の中心となるプロダクション、レコード会社、音楽出版社の役割について学びます。 後期では主にJASRACの役割と印税について学びます。JASRACに関しては、インターネット上で不確かな情報が飛び交っているのが現状ですが、自身で正しい判断が出来るような知識を身につけてください。 仕事内容の伝わりにくい業界ですので、これをキッカケに興味を広げ、自身でも積極的に調べるようにしていきましょう。
備考	ホームルームも兼ねるため、日常の連絡業務や学校行事のプリント配布、アンケート調査、就職ゼミなどが実施される週もある。